

ホッとな森づくり隊

薪出し薪割り薪ごはん

3月6日、森について頭と体を使って学びながら、自分と森とのちょうど良い関係を考えてもらうイベント「ホッとな森づくり隊」を開催しました！



昔の里山は、燃料などを手に入れるために木をたくさん切っていましたが、現在は木を使わなくなり、森は以前の姿を失いつつあります。そこで、「**森の整備で切った木の活用を通して、里山環境や生き物の暮らしを知ってもらうこと**」をねらいとして、森づくりで薪出しする理由を学んだ後、薪出しを体験して頂きました。

薪出し&薪割りにチャレンジ！

薪出しでは、事前に伐採したアベマキやアラカシなどの木を、参加者みんなで運びました。1人で運べるものから、ロープを使って数人で協力しながら運ぶものまで、いろいろなサイズの丸太を運んでいきます。

薪出し



薪割り



薪割りは2チームに分かれました。手斧で小さい薪を割るチームと、大きくて重い丸太を割るチームです。大きくて重い薪は、人の力で運ぶのは大変なので、その場で小さなサイズに割ってから運びます。

おいしい薪ごはん♪



薪出しと薪割りの仕事をたっぷりしたあとは、**薪ごはん**で休憩。**薪で炊いた羽釜ご飯**と**桜の薪**で香りづけした**ローストチキン**、**野菜たっぷりのお味噌汁**をいただきました。



インタープリターとゆったり森あるき



おいしい薪ごはんを食べて、体力回復！午後は**ゆったりと森あるき**を楽しみました。整備と生き物の視点でインタープリターが解説。整備をする時の生き物への気遣いを知って頂いたり、手入れをしているエリアとそうでないエリアを見比べて、**里山の移り変わりを体感**して頂きました。

ふりかえり&まとめ

最後のふりかえりで参加者からは、

「いろいろな木の見方を知って、一日で人生が**豊かになった気がする**」などの声をいただきました。今回のイベントを通じて、**人の生活と森とのつながり**を知り、実際に体験することで、**自然に対する見方が変わる**ことを実感していただきました。

